

**問③** 小浜小学校建設工事基本設計業務プロポーザルについて。

**答** 提案型の業者選定方式を採用し、優秀な

設計業者を公平かつ厳正に選定する手法とした。地域市民のご理解を得た上で通学区域審議会に諮問し、将来に備え適正な規模で基本計画を進めていく。



藤田 善平 議員

**問①** 防災対策について、

停電音声告知、ケーブルテレビ、広報車など不能不通を前提にした自主防災組織の確立と各集落避難所および防災連絡所開設と各地区公民館拠点と市本部の三者連絡体制の確立、孤立地域の避難対応策、災害弱者、山林の保水力の強化、水防倉庫など検討課題、破堤時の対応策を問う。

**答** 防災行政無線を各公民館へ配備すること

を検討する。状況に応じた早め早めの対応に努める。

**問②** 農業課題について、中山間地水田対策、

有機栽培の取り組み、認定農家、農業法人の支援策を問う。

**答** 取り組む。

**問③** 教育環境について問う。

**答** 耐震診断後の小学校改築は緊急を要するところから取り組む。

**問④** 市町村合併について現状の認識や二〇一〇年嶺南一市構想に現実性があるのか、今後の小浜市の対応を問う。

**答** 健全で身の丈にあった財政運営を堅持する。



山本 益弘 議員

**問①** 高速道路（舞鶴若狭自動車道）の小浜ICと敦賀までの開始時期および小浜IC周辺整備の考えを問う。

**答** 用地買収後、四〜五年で完成する。小浜西ICから小浜IC間は完成次第供用する。全線開通が地

域活性化へ大きく寄与することを訴え全力で取り組む。周辺は道の駅との一体化で整備し、農業農村活性化エリアとして地域住民の参画をいただき進めていく。

**問②** 保育園の統廃合と民営化を具体的にどのよう

**答** 今富第一・第二保育園の統廃合を図り民営化していきたい。公設民営・民設民営の問題、さらに一校区二園あるところから統廃合を実施し、その後は入園児童数の増減状況を見ながら検討委員会の意見を聞く中で進めていく。

**問③** 学童保育を六年生まで受け入れられないか。

**答** 原則では三年生までの受け入れをしてお

り、今後四年生以上の受け入れも有償ボランティアを考慮実施していきたい。学童クラブニーズ結果により開設場所も前向きに研究する。



下中 雅之 議員

**問①** 個人情報詐欺、架空請求等の犯罪が多発する中、警察当局だけで治安を守るのは困難な現状である。治安の回復に向けて行政のなすべき対応を問う。

**答** 市の消費窓口、広報おばま、ケーブルテレビなどによる啓発活動を実施するとともに警察、県嶺南消費生活センター等の関係団体と連携して、被害防止に取り組む。

**問②** エイズや性感染症を防止するには、正しい知識が予防のワクチンと思うが、取り組みを問う。

**答** 学校教育においても、エイズや性感染症の防止教育の推進を図り、人間の性に関する基本的事項を正しく理解できるように、性教育の充実を図っていききたいと考える。

**問③** 他の御食国と連携してサミット等を開催してはどうか。

**答** 学校の教育において、他の御食国と連携してサミット等を開催してはどうか。

**答** 食の都市間交流を深める意味からも、関係者の意見を十分伺う中で、可能性について研究したい。



三木 尚 議員

**問①** 昨年より質問している市役所の執務時間延長の件だが窓口業務に限っての本格実施に移る予定は。

**答** 十七年四月から本格実施する方向。

**問②** 公平公正の立場から全ての区においてゴミ集積場を設置すべきでは。

**答** 今後、未設置の区については極力設置して頂くように努める。

**問③** 不登校児童への対策は。

**答** 退職有志の先生から数学の学習会の申し出があり来年から実施したい。

**問④** 現状の小浜市の奨学金制度を大幅に見直し、親に頼らなくても進学できる制度に。

**答**

他の奨学金との併用を認め、理工系や医学系などの奨学金も見直したい。

**問5**

登下校時の安全対策としてボランティアのパトロール隊員を募集しては。

**答**

実現に向け努力したい。

**問6**

鯉川シーサイドパークの年間を通じた有効利用は。

**答**

検討していきたい。



井上 万治郎 議員

**問1**

三位一体改革の影響を問う。国庫補助負担金・地方補助金の削減はどのくらいか。税源移譲はどのくらいか。本年度並みの一般財源の確保は難しいのではないか。行政のスリム化は。

**答**

身の丈にあった行財政運営を行う。行革によるリストラ、施策の選択と事業の重点化、コスト縮減の徹底を図る。市の財政拡大

を地道に目指すべきと考えるが。

**問2**

企業誘致について、アンケート結果と誘致折衝状況・見通しについて。また、西友撤退後のテナント誘致状況は。

**答**

未定だが、商工会議所と連携し柔軟に対応したい。

**問3**

陸上自衛隊の誘致活動は。

**答**

防衛庁長官らに意向を伝えた。今後も実現に向け熱意を示し、積極的に要望していく。

**問4**

有害獣（猪鹿猿熊）対策は。檻の貸し出しと使用状況は。

**問5**

構造改革特区について。



宮崎 治宇蔵 議員

**問1**

三位一体の改革について。

**答**

地方が強く反対してきた生活保護費負担

金率の見直し等十八年度から実施する方針が明記され、三位一体改革の理念に反しかねないと考えている。

**問2**

来年度の補助教員の配置方針について。

**答**

来年度は緊急雇用関係の補助金は無くなるが、基礎学力の向上の成果が着実に上がっており補助教員の派遣の継続を望んでおります。

**問3**

関電から「安全協定の改定にあたっては検討していきたい」とする回答があったが、小浜市の認識は如何か。

**答**

必要があれば見直しを検討したい。

**問4**

国民保護法とは。

**答**

十六年六月十八日に成立した「武力攻撃事態等における国民の保護の措置に関する法律」である。本市においても来年度から小浜市版の国民保護計画を作成する。

**委員会人事異動のお知らせ**

十二月定例会において副議長が交代したことにより、議会運営委員会委員および常任委員長が異動がありましたのでお知らせいたします。

○議会運営委員会委員

(旧) 小堂 清之 議員

(新) 石野 保 議員

○議会運営委員会

委員長 木橋 正昭  
副委員長 深谷 嘉勝  
委員 三木 尚  
垣本 正直  
藤田 善平  
清水 正信  
石野 保

○企画総務常任委員長

(旧) 小堂 清之 議員

(新) 西本 正俊 議員

○企画総務常任委員会

委員長 西本 正俊  
副委員長 上野 精一  
委員 富永 芳夫  
小堂 清之  
宮崎 治宇蔵  
深谷 嘉勝  
水尾 源二

**市町村合併特別委員会の廃止**

本市議会では、平成十五年六月に設置した市町村合併特別委員会を、十二月定例会において委員長の報告書を承認し、廃止いたしました。

本市議会では、将来の小浜市を考えると近隣町村との市町村合併問題は重要な案件とし、特別委員会の設置以降、特に合併特例法期限内に小浜市・遠敷郡における合併方針などについて精力的に委員会を開催し、関係議会へも小浜市議会の意向を申入れるなどの取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、上中町が三方町と合併し「若狭町」が誕生することや、名田庄村についても大飯町との協議を進めているなど、本市議会の意向に沿うように進まず、本委員会の調査すべき事項が消滅した形となり、今定例会をもって廃止いたしました。

**◆ご意見・ご要望をお寄せください。**

庁内LANの稼働により、皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができました。メールアドレスは下記のとおりです。  
gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

**◆会議録の閲覧は…**

小浜市のホームページ  
http://www.city.obama.fukui.jp  
メニューの「議会・会議録」ボタンから。

### 総合交通対策委員会の視察報告

本市議会では、鉄道や道路をはじめとする総合的な交通問題について協議するために、七名の委員で「総合交通対策委員会」を設けております。  
先日、本委員会が行政視察を実施しましたので、その概要について報告いたします。

〈期日〉  
十一月十一日(木)～十二日(金)

#### 〈視察研修事項〉

徳島県海部郡穴喰町

「阿佐海岸鉄道株式会社」

第三セクターとして平成四年三月に開業。

同線の利用者の九割が中高生となっている。運営状況が厳しいため、人件費をはじめとする様々な経費削減を行っているが、思うような効果はなく、また、鉄道に対する住民意識も開業当時に比べ薄れてきている。

行政・事業所が連携して様々な形の乗る運動も実施しているが、乗客の増加にはなかなか結びつかず厳しい状況が続いている。  
車社会に押されながらも存続に向け暗中模索の状況。



高知県安芸市

「いめん・なはり線活性化協議会」

平成十四年七月に同線開通。

定期券輸送人員は地元高校の就学時間に合わせたため微増しているが、観光客等の輸送人員は減少気味。

阪神球団のキャンプ地などの付加価値をつけて観光資源としている。また、まんが列車や美術館列車など、趣向を凝らした活性化支援策を実施するなど、地域の足として存続するため、多方面における活動を実施している。  
地元出身の漫画家やなせたかし氏の協力により車両、駅舎にキャラクターを使ったPRを実施するなど、アイデア豊かな事業を展開。



### 国道303号沿線市町村親善球技大会が行われました

去る十一月七日(日)に、朽木村において第三十六回国道303号沿線市町村親善球技大会が開催されました。

小浜市、上中町、今津町、朽木村の四市町村で毎年持ち回りで開催されるこの大会は、今津町と朽木村が平成十七年一月から高島市となり、また十七年中に上中町は若狭町になることから、この四市町村揃っての大会は今回が最後となりました。

朽木村グリーンパーク想いの森を会場とし、グラウンドゴルフで競いました。十月にオープンしたてのコースのため、選手はなかなか思うようにボールを操ることが出来ず、あちこち歩き回る姿が見られました。

小浜市チームは四市町村中三位と結果は振るいませんでしたが、会議での交流とは違い、スポーツを通じた楽しい雰囲気や選手同士が交流を持つことができ、大変有意義な大会となりました。



大会の一コマ

### 開かれた議会へ

本市議会では、早くからCATVによる本会議中継を導入するなど、開かれた議会を目指し取り組んでおります。

市役所五階の議事事務局で受付していただければ、本会議、委員会の傍聴ができます。

議会では市民の皆様にとつて重要な議論がされており、どうぞお気軽にご覧ください。

### 編集後記

◎あけましておめでとうございます。  
昨年は大雨、台風、地震などの自然災害に悩まされた年でありました。本市においても台風により道路や農林水産業へ大きな損害を受けており、今後さらなる議会、行政が一体となって一日も早い復旧に向け鋭意取り組んでいきます。

また、小浜小学校の建設や不燃物処分場の建設など、大規模な事業が本格的に動き出す年でもあり、これらをはじめ山積する行政課題に対し、市民の皆様へのニーズに応えるべく最大限の努力をいたしたいと存じますので、本年もよろしくお願ひいたします。

#### 〈広報委員会〉

- 委員長 深谷 嘉勝
- 副委員長 垣本 正直
- 委員 富永 雅之
- 〃 下中 雅之
- 〃 小堂 芳夫
- 〃 清之 清之